

北響かわらばん

2015（平成 27）年 2 月 3 日発行 No. 4

発行：北海道公立小中学校事務職員協議会

発行責任者 常陸 敏男

編集責任者 田中 邦彦

経験年数の少ない事務職員のための冬季セミナー開催

1 月 9 日（金）10：00 より札幌市ホテルユニオンにて、今年で 4 回目の経験年数の少ない事務職員のための冬季セミナーを開催しました。全道から 39 名の参加者が集まり研修を深めました。



<全体会>

「学校事務職員の仕事～経験年数 32 年目の領域とは」

～田島副会長の自分の経験にもとづき、わかりやすく学校事務の仕事とは何かを話しました。



アンケートより（ほんの一部抜粋）

- ・五項目、領域論など知らないことばかりでとても勉強になりました。ありがとうございます！ベテランの方々も若手が「一緒にやっていく」という考え方はとても素敵だなあと感じました。じむだより、今は作っていませんがいつか出してみたいと考えているので参考にさせていただきます。
- ・学校事務職員の仕事をしていると「これでいいのかなあ」と思うことが時々あります。今回、田島さんの話を聞いていて、疑問を持っていても、周りの方達と一緒にになって、考えたり取り組む中で自分なりの解釈を持てればいいのかと思いました。

<講演>

「フィンランドの教育制度について」

～北大の研究生でフィンランド人のエルツキさんによる、自国フィンランドの教育についての話をされました。



アンケートより（ほんの一部抜粋）

- ・フィンランドの教育制度を聞いて、学校の実態は日本の抱える問題と共通することがあることが分かりました。ハード面とソフト面、両方の課題の解決、軽減を図っていく必要があると思いました。
- ・フィンランドの教育制度について何も知らなかったので勉強になりました。日本とは全然違うなあと感じるところが大半でしたが、問題点は似ているように思えました。日本にあうように改変できるところは変えていって、よりよい教育環境が作れたらよいと感じました。
- ・スクールセクレタリーはどのような仕事をするのか。詳細を知りたかった。

<Q&Aコーナー>

～参加者の質問に本部役員が答える恒例のコーナーになりました



アンケートより（ほんの一部抜粋）

- ・質問をみていると、自分もこういうことを思っていたな、考えていたな、困っていたなと共感できることがたくさんありました。
- ・経験年数の短い若い人が内容あふれる質問を刺激になった。
- ・難しいとは思いますが、事前に資料を読むことができれば、中身について詳しく知れたと思いました。後日熟読したいと思います。

＜参加者実践交流＞

～参加者の持ち寄った実践についての交流をしました。



アンケートより（ほんの一部抜粋）

- ・参加された方の実践が知れてよかったです。みなさんががんばっているのだなと元気をもらいました。ありがとうございました。
- ・皆さんの取り組みがとても大変そうな事なのにしっかり結果として残っていて素晴らしいと思いました。自分も見習いたいと思います。

＜グループ討議＞

～参加者4～5名にわかれ、様々なテーマにもとづき討議しました。



アンケートより（ほんの一部抜粋）

- ・研究会等に参加した時にグループ討議が一番成長につながる。時間をもう少しとってほしいのかなと思います。
- ・やってみないと分からない仕事がたくさん分かりました。事務の仕事に固執するのいけないが、何でも屋さんになってもいけないのだなと思いました。
- ・経験年数、地域が異なる人たちと交流ができてよかった。



本部の動き

- 2月5～7日 第2回北海道学校実務要覧編集委員研修会
- 2月6～7日 第2回職務検討委員研修会
- 4月16～17日 第7回役員研修会
- 4月16～17日 第3回職務検討委員研修会
- 4月16～17日 第3回メディア委員研修会

- 札幌市
- 札幌市
- 札幌市
- 札幌市
- 札幌市



＝協議会HP 会員専用ページ：「ID」（ユーザー名）：74q7h 「パスワード」：gwh28 半角英和＝

あしがき

このあしがきの箇所もきちんと読んでくださる方がいらして感謝申し上げます。だから、あんまり本音をずぼっとわかりやすく書く誤解を招くかもしれないので、すこし慎重に書かないといけないのかなと思ってる@JUNYA。

そんなわけで今回は、当たり障りのない編者の話です。

編者は、昨年の4月に学校が所属する自治体、学校規模、執務環境、ヤマ相棒の特命、係のような感じの環境になる、住宅とあらゆるものが変わり、疲れた年度になりました。環境があまりにも変わります。のは、だんだんと年齢を重ねていくとつらいな〜と感じています。それでもなんとかやれているのは、周りの人達に恵まれているせいかもしれません。

今回初めて異動する若い方はドキドキもので不安かもしれません。が、なんとかなるさの気分です。分で前へ進んでほしいなあと思っております。（邦）